

滝沢市の水道水の水源は、99%地下水です

滝沢市の水道水は、岩手山麓の豊かな自然がもたらす清らかで恵まれた地下水を利用しているため、おいしい水として親しまれています。

全浄水量における地下水比率は99%となっており、残りの1%は河川水です。

また、滝沢市の地下水は、雪解け水や雨水が長い年月をかけて地下に浸透し、地層という天然のろ過装置でろ過され、そのままでも飲めるほど清浄な水となっており、岩手山麓に豊富に蓄えられています。

この水を水源としている滝沢市の水道水は、まさに「天然水を飲んでいなくても過言ではないうらい、水質が良いのです。」



【参考:年間浄水量の内訳（令和6年3月31日時点）】

- ・年間総浄水量：5,116,982m³
- ・地下水取水浄水量：5,081,544m³
- ・河川水取水浄水量： 35,438m³

◎滝沢市の地下水の特長

滝沢市で水源として利用している地下水は、ほぼ「被圧地下水」という、水を通しにくい層のさらに下の層に帯水している水です。

被圧地下水は地表の影響(人間の活動や気温)を受けづらいため水質がよく、状態が安定しているという特長があります。

